



真新しい春の訪れ！

部長 松本安博

春爛漫、初等部校舎わきの桜も今が満開。すべてのものが新たな門出を祝福してくれているように思われます。

お子様のご入学・ご進学、誠におめでとうございます。今年度の新入生は48名で、編入生2名を加えた全体児童数423名でのスタートとなりました。

新入生はもとより初等部生一人ひとり、新しい出会いの中で、真新しい気持ちで新年度を迎えたことと思います。

私も初等部長の任を拝命し、早3年目を迎えます。今月号では、今年度の経営と運営についてのビジョンの一部をお伝えをしたいと思います。

一つは、「共学」と「共育」の姿勢をもって、「信頼」と「創造」の魅力ある学び舎づくりに努めていきたいと思えます。

保護者の皆様を対象にした昨年度末の学校評価において、「今年度の初等部の教育指導は、全体的にみてどうでしたか。」との問いに対し、満足84パーセント、ふつう13パーセント、不満足3パーセントと高い評価を得ました。学年によっては、不満足が0パーセントの学年もありました。また、3月の保護者会でも触れましたが、初等部生を対象にした「休み時間は楽しいですか。」や「学習は楽しいですか。」、「友だちと一緒にいて楽しいですか。」との問いに対しても、一定の高い評価を得ることができました。しかし、私たちはこれらに甘んずることなく、不満足3パーセントにも意識を向けながら、常に人から学ぶ「共学」と生涯において自らも日々成長していく存在である「共育」の姿勢を忘れてはならないことを、先日職員とも共有したところです。

「共学」と「共育」の姿勢は、初等部生の一人ひとりについての理解を深め、さらにはきめ細かな指導を実現することとなり、信頼の絆を一層太くできると考えるからです。

また、昨年度より職員の創意で月曜朝会の終わりに初等部生全員で歌う「毎月の歌」が始まりました。そして、同時に初等部生の希望でクラブ活動の一つとして合唱クラブが誕

生しました。音楽教育の充実はもとより、豊かな心の形成と言語力の育成の視点からもたいへん意義深いものです。そして、これらの流れを受けて、今年度は課外の特別合唱クラブが誕生することになりました。昨年度末の予備調査では、40名を超える初等部生が特別合唱クラブへの入部を希望しました。夢のNHK合唱コンクール神奈川県大会への出場は、予想よりも早く、来年度には実現できるかもしれません。

初等部生同士が共に学び育つ、そして、初等部生と職員が共に学び育つ「共学」と「共育」の姿勢は、新しい価値あるものを創出してくれることと思います。

もう一つは、建学の精神のもと、初等部生像の柱としている「豊かな心」と「確かな学力」、「健やかな体」を身につけた品位ある初等部生の育成に向けて、今一つ丁寧で誠実な指導をもって「信頼」と「創造」の魅力ある学び舎づくりに努めていきたいと思えます。

この春卒業した卒業生にみるように、初等部生の誰もが未知のよさや無限の可能性をもっています。初等部では、「感謝と奉仕の心」を教育理念に、「ぞうきんと辞書をもって学ぶ心」を学習指導の指針として、また「人・物・時を大切に作る心」を生活指導の指針として、自由と規律の双方を重んじつつ、自主自発的で創造的な教育活動を通して初等部生像の柱を具現化していきたいと思えます。

今年度も、初等部の教育活動の推進にあたり、ご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。



「初等部校舎わきの桜」平成27年4月4日撮影